

《報告》

山口県東部におけるコガシラミズムシ科(コウチュウ目)の採集記録

辻 雄介¹⁾・相本篤志²⁾

¹⁾ 〒742-0417 山口県岩国市周東町下久原 607-1-A102

²⁾ 〒747-0806 山口県防府市石が口 3-10-10-B202

はじめに

コガシラミズムシ科 Haliplidae は、成虫、幼虫ともに水生植物の豊富な湖沼に生息する体長3~4mm程の止水性の水生甲虫で、成虫はときに灯火へも飛来する(上野ほか,2007)。元来草食性と言われていたが、最近、マダラコガシラミズムシなどの幼虫はシャジクモ類を摂食し、成虫では雑食性であることが知られている(北野ほか,2015)。

山口県においては、コガシラミズムシ *Peltodytes intermedius* (Sharp, 1873)、ヒメコガシラミズムシ *Haliphys ovalis* Sharp, 1884、マダラコガシラミズムシ *Haliphys sharpi* Wehncke, 1880、キイロコガシラミズムシ *Haliphys eximius* Clark, 1863、クロホシコガシラミズムシ *Haliphys basinotatus latiusculus* Nakane, 1985 が記録されている(三好・田中, 1988; 川野, 2005)。

本科は環境省および県単位のレッドデータブック(以下、RDB)に掲載されている種を多く含んでおり、他の水生昆虫類同様、生息環境の悪化や消失などにより全国的に生息地が減少している(野一色ほか,2015)。現状把握は急務であるが、山口県における記録は少なく、分布状況は未解明である。

筆者らは、山口県東部の岩国市および周南市において山口県初記録種を含む5種のコガシラミズムシ科を採集しているので県東部における分布の記録として報告する。

記 録

・キイロコガシラミズムシ *Haliphys eximius* Clark, 1863 (図1)

【記録】周南市八代, 1ex., 6-viii-2016, 相本採集・保管。

【備考】体長3.2~3.5mmで、日本国内では本州・四国・九州に分布する。山口県内では下関市(川野, 2005)から記録されている。

山あい水田地帯の林縁部にある小さな池で採集された。最も深い場所で水深1m程度であった。池にはガマが繁茂し、岸边はミゾソバやイネ科草本が密生して湿地状になっていた。また清冽な沢水が流入し、水質も良好であった。以下2種(クロホシコガシラミズムシとマダラコガシラミズムシ)と同所的に採集された。環境省RDBで絶滅危惧II類(VU)に指定されており、都道府県単位では12県のRDBに掲載されている(NPO法人野生生物調査協会・NPO法人EnVision環境保全事務所, 2013a)。

・クロホシコガシラミズムシ *Haliphys basinotatus latiusculus* Nakane, 1985 (図2)

【記録】周南市八代, 2exs., 6-viii-2016, 相本採集・保管。

【備考】体長3.5~3.9mmで、日本国内では本州・四国・九州に分布する。山口県内では下関市(川野, 2005)で記録されている。

採集場所はキイロコガシラミズムシの備考に記述しているため省略する。環境省RDBで絶滅危惧II類(VU)に指定されており、都道府県単位では19都府県のRDBに掲載されている(NPO法人野生生物調査協会・NPO法人EnVision環境保全事務所, 2013b)。



図 1. キイロコガシラミズムシ；図 2. クロホシコガシラミズムシ；図 3. マダラコガシラミズムシ；図 4. クビボソコガシラミズムシ；図 5. コガシラミズムシ。

・マダラコガシラミズムシ *Halipplus sharpi* Wehncke, 1880 (図 3)

【記録】周南市八代, 1ex., 6-viii-2016, 相本採集・保管。

【備考】体長 3.3 ~ 3.8 mm で日本国内では本州・四国・九州に分布する。三好・田中 (1988) で種名のみ記載されているが、採集記録の報告はないようである。

採集場所はキイロコガシラミズムシの備考に記述しているため省略する。環境省 RDB で絶滅危惧 II 類 (VU) に指定されており、都道府県単位では 19 都府県の RDB に掲載されている (NPO 法人野生生物調査協会・NPO 法人 EnVision 環境保全事務所, 2013c)。

・クビボソコガシラミズムシ *Halipplus japonicus* Sharp, 1873 (図 4)

【記録】岩門市柱野 御庄川ダム, 1ex., 26-vi-2016, 辻採集・保管。

【備考】体長 2.7 ~ 3.3 mm で、日本国内では本州・四国・九州に分布する。山口県内からの記録はなく、初記録種と思われる。

ダム湖岸に生育していたヨシの水中根をタモ網で掬って採集した。当ダムは治水専用の流水型ダムであり、通常時の水深は深くなく規模も小さい。湛水部にはヒシが繁茂している。環境省 RDB で情報不足 (DD) に指定されており、都道府県単位では 4 県の RDB に掲載されている (NPO 法人野生生物調査協会・NPO 法人 EnVision 環境保全事務所, 2013d)。

・コガシラミズムシ *Peltochytes intermedius* (Sharp, 1873) (図 5)

【記録】周南市小松原, 3exs., 25-vi-2016, 辻採集・保管。

【備考】体長 3.1 ~ 3.8 mm 前後で、日本国内では北海道・本州・四国・九州に分布する。山口県内では下関市 (田中, 2000; 川野, 2005), 美祢市 (山口むしの会保全委員会昆虫調査班, 2014), 山口市 (角田, 2015), 周南市 (水情報国土データ管理センター, 2015) で記録されており、三好・田中 (1988) では平野部および山間部に普通と記述されている。

山口県東部におけるコガシラミズムシ科（コウチュウ目）の採集記録

ジュンサイやフトヒルムシロが繁茂しているため池で、ジュンサイ群落をタモ網で掬って採集した。ひと掬いで5～6個体採集され、個体数は多いようであった。環境省 RDB には掲載されていないが、都道府県単位では4都県（このうち東京都では絶滅種）の RDB に掲載されている（NPO 法人野生生物調査協会・NPO 法人 EnVision 環境保全事務所, 2013e）。

おわりに

山口県において記録の少ないコガシラミズムシ科を山口県東部から2属5種記録した。クビボソコガシラミズムシが追加されたことにより、山口県から記録されているコガシラミズムシ科は6種となった。

山口県版 RDB にコガシラミズムシ科は掲載されていないが、隣県の広島県では、クビボソコガシラミズムシが絶滅危惧Ⅱ類（VU）に、キヒロコガシラミズムシとクロホシコガシラミズムシが準絶滅危惧（NT）に指定されている。過去の記録が少ないため判断はできないが、広島県の状況から推測すると山口県でも個体数が減少している可能性はある。筆者らは今後もコガシラミズムシ科を含む水生甲虫類の調査を継続していく予定であり、山口県内における記録を蓄積していき、生息状況の把握に努めたいと思っている。

引用文献

- 川野敬介（2005）豊田町の止水性水生昆虫（水生半翅目・甲虫類）。山口のむし, (4): 37-47.
- 北野 忠・苅部治紀・中島 淳・西原昇吾（2015）マダラコガシラミズムシ, pp.241. レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－5 昆虫類. 株式会社ぎょうせい, 東京.
- 水情報国土データ管理センター（2015）河川環境データベース. 入手先, 河川環境データベースシステム, <http://mizukoku.nilim.go.jp/ksnkankyo/03/index.htm>, (2016年11月2日確認).
- 三好和雄・田中 馨（1988）鞘翅目. pp.126-187, 山口県の昆虫. 山口県立山口博物館（編）, 山口.
- 野一色麻人・村上大介（2015）福井県産コガシラミズムシ科4種の記録. 福井市自然史博物館研究報告. (62): 79-80.
- NPO 法人野生生物調査協会・NPO 法人 EnVision 環境保全事務所（2013a）キヒロコガシラミズムシ. 日本のレッドデータ検索システム, <http://www.jpnrdb.com/search.php?mode=map&q=07170081583&sort=s> (2016年11月2日確認).
- NPO 法人野生生物調査協会・NPO 法人 EnVision 環境保全事務所（2013b）クロホシコガシラミズムシ. 日本のレッドデータ検索システム, <http://www.jpnrdb.com/search.php?mode=map&q=07170081582> (2016年11月2日確認).
- NPO 法人野生生物調査協会・NPO 法人 EnVision 環境保全事務所（2013c）マダラコガシラミズムシ. 日本のレッドデータ検索システム, <http://www.jpnrdb.com/search.php?mode=map&q=07170081589> (2016年11月2日確認).
- NPO 法人野生生物調査協会・NPO 法人 EnVision 環境保全事務所（2013d）クビボソコガシラミズムシ. 日本のレッドデータ検索システム, <http://www.jpnrdb.com/search.php?mode=map&q=07170081584> (2016年11月2日確認).
- NPO 法人野生生物調査協会・NPO 法人 EnVision 環境保全事務所（2013e）コガシラミズムシ. 日本のレッドデータ検索システム, <http://www.jpnrdb.com/search.php?mode=map&q=07170081590> (2016年11月2日確認).
- 角田正明（2015）山口県産所蔵標本リストについて. 山口のむし, (14): 162-169.

田中 馨 (2000) 阿武町の甲虫類 (主に大木克行氏採集による). ちょうしゅう, (12): 13-19.

上野俊一・黒沢良彦・佐藤正孝 (2007) 「原色日本甲虫図鑑 (II)」 514pp., 保育社, 大阪.

山口むしの会保全委員会昆虫調査班 (2014) 美祢市美東町長登地区の昆虫調査報告. 山口のむし, (13): 121-149.